

完了報告書（平成 22 年度）

提出者 中田 英樹

提出年月日 2011 年 4 月 10 日

【プロジェクト名】

和文 日本における外国人労働者の生活世界と地域社会の変容に関する実証的研究

英文 An Empirical Study on the Intimate Sphere of Migrant Foreign Labors and Changes of the Regional Societies in Japan

【メンバー構成】

研究代表者：中田英樹

幹事：崔博憲

メンバー：高村竜平、佐々木祐、坂梨健太、村川淳、飯田悠哉

【ねらいと目的】（600 字程度）

グローバル化や少子高齢化によって、現在、日本社会は様々な変化に直面しているが、とりわけ大きな変化のひとつが、日本社会の多様化であり、それは新たな他者の包摂や排除の契機でもある。移民受け入れや外国人参政権の議論の高まりとともに外国人の排斥が激化している近年の状況は、そのことを示している。

本研究は、こうした変化が生起するなかで、（一時的であれ）新たに日本社会の構成員となった人びとの家族関係や労働現場にて形成するネットワークといった親密圏がいかなるものであり、それがどのように公共圏と関わり合っているのかを実証的に明らかにする。

具体的には、ペルーやブラジルといったラテンアメリカ、タイや中国などのアジアからの、近年、日本にきた人びとを研究対象とする。彼／彼女たちの母語や社会についての習熟した知見をもった各メンバーが、フィールド・ワークを通じて、彼／彼女たちの生のあり方を探求することで、日本社会の境界域を生きる人びとの生活世界の具体的な位相を明らかにしたい。

また、年間を通じて複数回、当事者やジャーナリスト、NGOの活動家、弁護士、法や制度に携わる政治家や官僚などを招いたシンポジウムを実施し、多様な視点から議論を行い、本研究の意義や成果を広いコンテキストに位置づけつつ、社会化することを予定している。

【活動の記録】

研究会・ワークショップの場合は、開催年月日、報告者と報告題等

調査の場合は、調査年月日、調査者、調査地、調査目的等

その他の活動も含めて、研究期間中の活動について簡潔に記してください。

【成果の概要】（800 字程度）

本プロジェクトは本年度、次の二本柱を軸に活動を展開してきた。

第一の柱は計 4 回にわたる研究会である。時間的には高度経済成期から現在まで、日本の資本主義社会を支えてきた様々な外国人労働者が、現在どのような状況にありどのような問題を抱えているのかについて、それぞれの現場に詳しい方を招待し、議論を深めた。

第一回目は、“進んだ日本の諸技術を実習させてもらうために日本にいる研修生”という名の下で単純製造業や農業労働に従事する中国などからやって来た技能実習研修生を対象に、本プロジェクトのメンバーである崔と飯田が発表をおこなった。第二回目は、京都YWCAの岡佑里子さんから出稼ぎに来ている在日外国人の諸問題について、また新規参入の若手農業者松平尚也さんには、日本農業の厳しい現状についてお話いただいた。第三回目は、インドシナ紛争時のベトナム難民の現状にスポットを当て大阪大学の川越道子さんに、第四回目は、性産業での底辺労働を支えてきた外国人を取り上げ、神戸大学の青山薫さんに報告していただいた。



第三回アド・ホック研究会（発表者：川越道子）

第二の柱は各メンバーによる現地調査である。中田が滋賀県近江八幡市の日系ブラジル人労働者を、崔が香川県のタイやラオスの農業技能実習生を、坂梨が熊本県の中国人農業技能実習生を、村川が群馬県大泉町の日系ペルー人労働者を、そして飯田が茨城県霞ヶ浦周辺、長野県南佐久郡の中国人農業実習生を対象にフィールドワークをおこない、様々な情報や新たな知見を得ることができた。



ラオス・中国人実習生によるニンジン洗浄作業（香川県）

三月中には、プロジェクトのメンバーとここまで発表して頂いた方々が一堂に会し、本年度の総括と次年度からの議論の焦点化を図る計画である。

本プロジェクトは本年度から開始されたものであり、メンバー各々が現状を一通り俯瞰できたことは少なくとも成果としてあげられよう。成果報告会では、本年度のプロジェクトの活動を通じて浮かび上がった論点をいくつか提示し、次年度からの議論展開の足がかりとしたい。

【通信欄】

（研究代表者記入）

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 次世代 <input type="checkbox"/> 次世代ユニット <input type="checkbox"/> 男女共同参画に資する調査研究		
経費	予算額	800	（千円）
		実績額	800 （千円）

様式 2

最終成果報告書（ワーキングペーパー）のホームページ公開に関する許諾書

研究成果タイトル

グローバル COE プログラム「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」に提出する上記の最終研究成果報告書（ワーキングペーパー）の PDF ファイルを同プログラムのホームページに公開することについて、下記のように返答します。

2011 年 4 月 10 日

最終研究成果報告書（ワーキングペーパー）
の執筆者全員のお名前（自署捺印）

中田 英樹
崔 博憲
高村 竜平
佐々木 祐
坂梨 健太
村川 淳
飯田 悠哉

記

- 許諾する。
- 部分的に許諾する。
許諾する部分を具体的にご記入ください。
- 下記の理由により許諾しない。
 - 調査対象者の個人情報保護のため
 - その他（具体的に理由をご記入ください）